新型コロナウィルス感染症対策チェックリスト（卓球）

1. 事前の対応

□大会当日の体温、および大会前2週間と大会後1週間における事項の有無を記入した「学校同行者体調記録表」を当日受付で提出する。（HPよりダウンロード可能）

1. 大会運営の対応

□競技中以外はマスクの着用を義務付ける（審判の生徒・保護者・引率教員・学校関係者・競技役員も同様）

□引率教員、学校関係者は指定された観覧席で観戦する。その際、前後左右もできるだけ距離をとる。またほかの学校の観覧席や通路や手すり付近へ移動して観戦することはできるだけ避ける。

□一部有観客試合とする。（具体的な人数はHPを参照）

□保護者の観戦については、1日目は保護者は子どもが出場する試合が始まるまで控え室に待機し、選手の観覧の際のみ2階席から観戦することができる。2日目は通常通り観覧席から観戦できる。

□観覧する保護者、ならびに外部アドバイザーは「来場者体調記録表」を必要事項を記入した上、受付に提出すること。なお、保護者は受付で渡された観戦者シールを会場委員に分かるよう貼って観戦すること。

□試合当日、健康状況チェックシートで体温が３７．５度以上あった生徒、引率教員、役員は参加を見合わせる。

□観覧席からの応援は拍手のみとする。

□本部での受付（本申し込み・学校同行者体調記録表）や選手の試合結果の報告時に距離を置いて並べるようにする。

□受付で現金の授受を避けるように事前に集金する。

□開会式・閉会式はできるだけ縮小し、密接しての整列・集合などは行わない。表彰式は競技終了後に短縮しておこなう。

□卓球台はできるだけ間隔をとり、場合によっては台数を減らして実施する。

□会場の出入り口に消毒用のアルコールスプレーを設置する。

□ハンドソープを1階2階のトイレに常設に加えて設置する。

1. 競技中の対応

□フロアでの次の試合の待機は十分距離をとったうえで行う。

□試合中については熱中症に気をつけながらマスクをつけるかどうかは選手が判断する。

□ラケット交換は行わず、試合開始時のじゃんけんの際に使用ラバー、ラケットを相手に見せる。

□試合後の握手は行わない。

□団体戦は試合終了後、使用したボールは会場に設置してある回収箱に戻す。

□個人戦は試合終了後、試合の結果と一緒にボールを本部席に持ってくる。（抗菌ボールは持て来なくてもよい）

□ボールはできるだけ抗菌ボールの使用を推奨する。

□各コートに手指消毒用の消毒液を置き、試合前、後に消毒をする。

□ベンチコーチを行う場合は、コーチはマスクなどの対策をしたうえでアドバイスをする。

□選手は食事の際は黙食を徹底する。

□競技が終了した選手はできるだけ早めに体育館を出るようにする。

□顧問、引率教員は選手の保護者と連絡が取れる体勢をつくっておく。